

件名：アジア系市民に対する嫌がらせ等に関する注意喚起

ポイント：

全米において、アジア系市民に対するヘイトクライムやハラスメントが発生しており、在留邦人の方が当事者となるケースも確認されています。今後も根拠のない情報に基づいた個人的偏見によるヘイトクライムやハラスメントがアジア系市民に向けられる可能性があることから、未然に危険を回避し、ご自身の安全を守る行動を取るよう、十分注意してください。

本文：

- 1 ヘイトクライム・過激主義等を注視している関係団体によると、シカゴを含む全米の16都市を対象に行った調査において、アジア系市民が被害者となるヘイトクライムは2019年が49件だったのに対して、2020年は122件に激増しており、今年に入っても増加傾向にあることから、十分注意が必要です。

- 2 ヘイトクライム等を注視している関係団体からは、シカゴ市内においても、アジア系住民に対する以下のヘイトクライム等の被害発生が報告されています。
 - 散歩中に正面から歩いてきた見知らぬ男から、すれ違いざまに腕を蹴られた。男は、何か言葉を発しながら立ち去っていった。
 - 買い物中、マスクをしていない見知らぬ男性が近づき、話しかけてきたことから、距離を取るよう促したところ、侮辱的な言葉を浴びせられた。
 - 地下鉄に乗車していた際、目の前にいた見知らぬ男性から「国へ帰れ」「コロナウイルスで私たちを殺してくれてありがとう」といった言葉を浴びせられた。
 - 歩道にいたところ、車内から「自分達の国へ帰れ」と大声で叫ばれた。

- 3 皆さまにおかれましては、一般的な安全対策と同様、以下の点に注意し、ご自身の安全を守る行動を優先するように心掛けてください。
 - 暴力被害に遭う恐れを少しでも感じた場合には、すみやかに現場から離れる。
 - 見知らぬ者から注意を引くような言動をされても、相手にしない。
 - 車両から声かけや嫌がらせを受けた場合は、車両と反対方向に立ち去る。
 - 身の危険を感じたら、大声で周囲に助けを求める。
 - 深夜の一人歩き等危険を招きやすい行動は可能な限り避け、なるべく複数名で行動する。
 - 相手を不必要に刺激しない。

- 4 万が一ヘイトクライム等の被害に遭った場合には、警察（911番）に通報して頂くとともに、当館にもご連絡を頂きますようお願いいたします。

当館連絡先

Tel: (312) 280-0400 (24 時間対応) (注)

Fax: (312) 280-9568 Email: ryojil@cg.mofa.go.jp

(注) コロナウイルス感染症予防のため、現在業務体制を縮小しております。平日午前9時15分から午後5時までは音声案内に従って操作しますと担当部門につながります。土曜・日曜・祝祭日、平日午後5時以降、翌日午前9時15分まで(事件、事故、その他緊急の用件)は、音声に従って操作しますと、閉館時の緊急電話受付につながります。